

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	3年度
事業名	国際交流事業費	担当課	総合政策課
事業内容(簡潔に)	フェアフィールド市との姉妹都市高校生ホームステイ事業、姉妹都市中学・高校生派遣事業などの実施		

1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第7次総合計画での目的体系	基本方向	人が集う交流のあるまちづくり
	政策	さまざまな交流の充実
	施策	地域間交流・国際交流の推進
関連する個別計画等		根拠条例等

2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	市内児童生徒等に外国との交流を通じて相互の理解を深め、国際的な感覚を養い、自己の成長発展に資する。
事業の手段	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーを中心に姉妹都市フェアフィールド市との学生（中学・高校生）相互派遣 ・フェアフィールドから学生を受け入れた際、小中高へ訪問し、交流を持たせる。 ・市民による国際交流活動の支援（チェコ共和国メヘニツェ市 等）
事業の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の小中学校及び高等学校の児童生徒 ・国際交流活動を行っている市民や団体 ・市内のホストファミリー家庭

3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		30年度	元年度	2年度
財 源 内 訳	A 事業費 (千円)	2,477	2,791	57
	国・県支出金	0	0	0
	その他(使用料・借入金ほか)	2,458	2,772	38
	一般財源	19	19	19
B 担当職員数(職員E) (人)	0.38	0.38	0.38	
C 人件費(平均人件費×E) (千円)	2,784	2,552	2,499	
D 総事業費(A+C) (千円)	5,261	5,343	2,556	
主な事業費用の説明	韮崎市国際交流実行委員会補助金(姉妹都市高校生ホームステイ事業、姉妹都市中学・高校生派遣事業)。 令和元年度、中欧文化交流事業が行われた。			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した30年度(6,862千円)、元年度(6,715千円)、2年度(6,575千円)を使用しています。

4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			30年度	元年度	2年度
活動指標	1 学生受入期間(日数)	韮崎、京都・広島など滞在日数	7/10~7/30 (21日間)	7/9~7/29 (21日間)	中止
	2 学生派遣期間(日数)	フェアフィールド市などホームステイ日数	12/15~ 1/4 (21日間)	12/14~ 1/4 (21日間)	中止
	オンライン交流会	実施回数	-	-	1
	3 学生受入・派遣人数	学生6名・引率1~2名	6名・2名	6名・2名	中止
	オンライン交流会参加者数	市中高生12人・フェアフィールド市側11人	-	-	23人
妥当性	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない				
上記活動指標と妥当性の説明	1	<ul style="list-style-type: none"> ・フェアフィールド市学生の長期休暇期間にあたり参加しやすい時期であり、来韮中は学校訪問ができるうえ後半はホスト家庭学生の夏季休暇にあたり、ホスト家庭の受け入れに対する意見を踏まえると交流機関、実施時期ともに妥当である。 ・令和2年度においては、コロナ禍により中止となる。 			
	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカのクリスマス、年越しを経験できる期間であるとともに、派遣学生にとっても冬季休暇の時期にあたるため参加しやすい。 ・令和2年度においては、コロナ禍により中止となったが、オンラインによる交流を行った。 			
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・派遣期間において、現地スタッフが行動を共にするのに適当な人数である。また、滞在中はホームステイをするため、対応できるホストファミリーの面についても十分な協議がなされた人数であり、妥当である。 ・コロナ禍により、相互派遣が中止となったが、オンラインによる交流では、市内中高生及びフェアフィールド市の学生と交流を実施することができた。 			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			30年度	元年度	2年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	受入学生の満足度	アンケートによる5段階評価 最高評価の割合 (%)	100	100	—
	1	オンライン交流会参加者 者の満足度	アンケート回答者による5段 階評価最高評価の割合 (%) (最高評価7人/回答者8人)			87.5
	2	学生1人あたり受入にか かる経費	補助費(単位:千円) / 受入人数	222	214	—
	3	学生1人あたり派遣にか かる経費	補助費(千円) / 派遣人数	127	154	—
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と成 果の内容説明		1 オンライン交流会参加後の5段階評価アンケート(大変満足、満足、どちらでもない、不満、大変 不満)により、ほぼ全員の学生が大変満足と答えたことから、コロナ禍において実施した代替事業 としては有意義な試みだったと考える。 2 コロナ禍により中止となったため、経費はゼロである。 3 コロナ禍により中止となったため、経費はゼロである。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直し が必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業 と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)			
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)			
	令和3年度の改善計画(今後の事業展開説明)			
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないことから、昨年度同様にオンラインでの交流を行う予定である。 また、本年度は、姉妹都市交流50周年であるので、記念誌の作成を行い、フェアフィールド市とのオンラインによる記念交流会を開催するなど、友好関係の灯を絶やさないようにしていく。 チェコ共和国との友好関係強化とともに共生社会の実現及び啓発のため、パラリンピック自転車競技選手をホストタウンとして受入れる。 受入れに当たっては、選手にはおもてなしの心を持って接するとともに、競技に専念できる環境を提供し、子どもたちにはオンライン交流を実施し、国際教育やスポーツの大切さを感じてもらおう機会を提供していく。 			
過去の改善経過	改善の経過	<ul style="list-style-type: none"> 旅行会社の見直しを図り経費の削減を図った。 平成28年度には姉妹都市交流45周年記念を開催し、フェアフィールドとの友好を深めた。 平成28年度においては、フェアフィールド側の都合により来菲人数が1減。派遣時の引率者については、例年東西中学校の教員(1名)を引率者としていたが、訪米中の教員の負担軽減や国際化に対応できる職員育成の観点から、平成29年から市職員を1名常同。 令和2年度において、オンライン交流会を実施。 		
	直近の評価結果	内部評価	令和元年度	<input type="checkbox"/> 拡大 — <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
		外部評価	対象外	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 一部改善 <input type="checkbox"/> 全部改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> 市民交流センター(子育て支援センター等)を訪問し、市民との交流に努めている。 HPや広報で募集をしているが、応募の件数は年によってばらつきがある。引き続き検討していく。 来菲を希望する留学生の選考については、引き続きフェアフィールド側に求めている。 派遣選考基準を明確にするため、平成27年度に派遣選考の採点基準を見直した。 		
課長所見	令和2年度は、コロナ禍において実施できなかったが、アフターコロナでは、維持し実施していきたい。			